



マスク姿で第一歩、入学式を挙

村内各小中学校の入学式が4月7日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため在校生や来賓などの参加を制限し、マスク着用が励行される中で開催されました。昭和中学校では、マスクを着け、緊張した面持ちで新入生49人が入場しました。式では、新入生を代表し、茂野優陽君が誓いの言葉で「このような立派な入学式を行っていただきありがとうございます」「先生方や先輩の皆さん、たくさんさんの指導をよろしくお願いします」と述べ、気持ち

を新たにしていました。この日の午後には、各小学校で合わせて47人の新入生が入学式に臨みました。大河原小学校では、新しい学校生活に胸を膨らませつつ、緊張した表情で入学式に臨んでいました。なお、堤村長は入学式のあいさつの中で、同日に政府から新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発令されることに伴い、村内全校の休校について検討することを明らかにしました。



マスク着用で新入生呼名(昭和中)



誓いの言葉を述べる茂野君(昭和中)



間隔を開けて開式(大河原小)



式を終え会場を後にする新入生(大河原小)

各保育園で入園式

園生活スタート

村内各保育園で4月6日に入園式が行われ、新たに57人の新入園児が楽しい保育園生活をスタートさせました。

入園式では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模を縮小しマスク着用で行われました。第二保育園でも、新入園児が保護者と一緒に入場。式では、年長児の園児たちがステージに上がり、みんなで楽しく「むすんでひらいて」を歌ってお祝いました。



元気いっぱいの入園式(第二保育園)